



[花き部門]

[農業研究所ホームページへ](#)

6. 播種後プライミングによるブプレウラム及びラークスパーの出芽促進

[要約]

播種後プライミングによって、ブプレウラム及びラークスパーの出芽は促進される。
播種後プライミング時にはブプレウラムは無覆土とし、ラークスパーは無覆土または覆土後に無かん水とする。

[担当] 岡山県農林水産総合センター農業研究所 野菜・花研究室

[連絡先] 電話086-955-0277

[分類] 技術

[背景・ねらい]

岡山県はブプレウラム及びラークスパーの全国有数の産地であるが、両品目とも出芽の不安定さが生産上の問題となっている。そこで、ブプレウラム及びラークスパーの出芽促進技術の確立を目的に、種子を水分調整した培養土に播いた後、水分レベルを維持しつつ一定の温度条件下に置く播種後プライミングの効果を検討する。

[成果の内容・特徴]

1. 播種後プライミングは、培養土を入れ、十分かん水した後に播種したセルトレイをビニル袋に入れ、18℃、暗黒のインキュベーター内で、ブプレウラムは10日間、ラークスパーは8日間行う（播種後プライミング終了時の発根率は、ブプレウラムで約30%、ラークスパーで約40%）。プライミング終了後はインキュベーターから出庫し、10℃加温、25℃換気のみストかん水施設内で育苗を行う。
2. ブプレウラムでは、播種後プライミング時に無覆土とすることで、ミスト育苗時の出芽が早く、出芽率が高く、健苗率が高くなる（表1、図1）。
3. ラークスパーでは、播種後プライミング時に無覆土あるいは覆土とすることで、ミスト育苗時の出芽が早く、出芽率が高く、健苗率が高くなる（表2、図2）。ただし、播種後プライミング期間中に発根程度を確認できるように、無覆土とするのが実用的である。

[成果の活用面・留意点]

1. ブプレウラムは「グリーンゴルド」、ラークスパーは「ミヨシのホワイト」の購入種子を用いた結果である。
2. 品種、採種条件などによって、適切な播種後プライミング期間は異なると推察される。



[具体的データ]

表 1 播種後プライミング処理がミスト育苗時のブプレウラムの出芽に及ぼす影響

播種後 プライミング 方法	播種後 プライミング 終了時の 発根率 (%)	出芽率 (10日後) (%)	出芽率 (30日後) (%)	健苗率 (30日後) (%)
無覆土	32	49 a ^z	81 a	78 a
覆土	-	22 b	61 b	55 b
覆土後かん水	-	18 b	61 b	50 b
無処理	-	0 c	62 b	33 c

^z 同一英文字間には有意差なし (TukeyのWSD法, 5%)

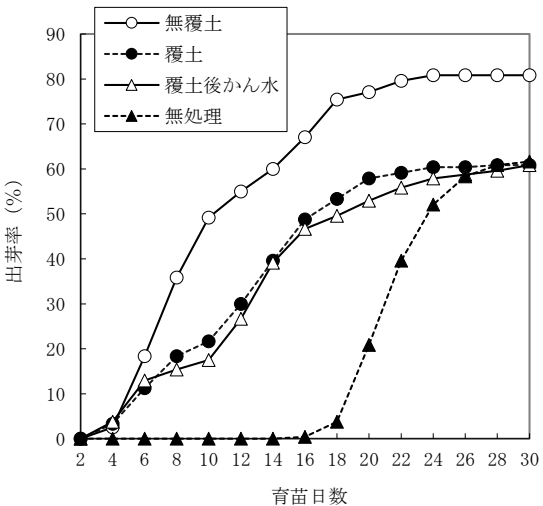


図 1 播種後プライミング処理がミスト育苗時のブプレウラムの出芽に及ぼす影響

表 2 播種後プライミング処理がミスト育苗時のラクスパークの出芽に及ぼす影響

播種後 プライミング 方法	播種後 プライミング 終了時の 発根率 (%)	出芽率 (6日後) (%)	出芽率 (30日後) (%)	健苗率 (50日後) (%)
無覆土	42	48 a ^z	81 a	78 a
覆土	-	53 a	81 a	78 a
覆土後かん水	-	28 b	74 ab	67 ab
無処理	-	0 c	62 b	57 b

^z 同一英文字間には有意差なし (TukeyのWSD法, 5%)

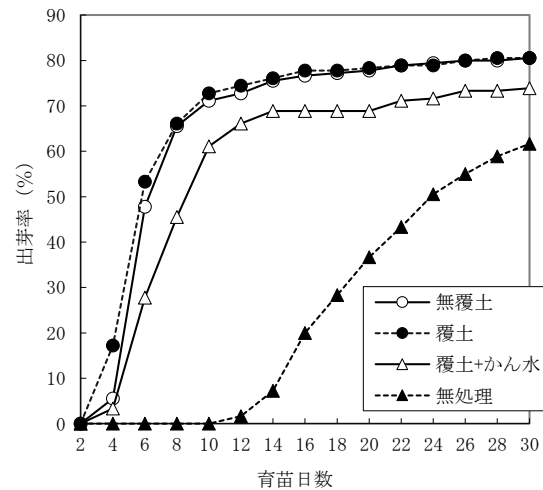


図 2 播種後プライミング処理がミスト育苗時のラクスパークの出芽に及ぼす影響

[その他]

研究課題名：難発芽種子の発芽（出芽）促進技術の確立
予算区分：県単
研究期間：2016年度
研究担当者：森義雄
関連情報等：1）[平成14年度試験研究主要成果、35-36](#)
2）[平成15年度試験研究主要成果、65-66](#)
3）[平成20年度試験研究主要成果、59-60](#)